

ユビキタス社会の
扉を開く鍵



2009年3月期 第1四半期 決算説明資料

Outline of Consolidated Financial Results
for First Quarter of Year Ending March31, 2009

キーウェアソリューションズ株式会社
(東証2部 3799)

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



【 第1四半期連結決算のポイント 】

**2009年3月期 業績予想達成に向け、
売上高は、計画通り堅調に推移し、計画通りの受注高を確保**

当社グループは、安定分野である社会インフラ構築事業において、官公庁向けの比重が大きいため、第4四半期に売上が集中する特徴があります。また、総合サービス事業においては、keyCOMPASS事業を中心とし、一般民需向けサービスを積極的に展開しており、中期的には業績の季節変動をできる限り少なくする戦略を取っております。

keyCOMPASS: 経営とITの統合コンサルティングからシステム運用・保守まで、事業間の連携を重視し、高い収益性を実現するための当社のビジネスモデル。

売上高 : 45億66百万円

- システム開発事業、総合サービス事業ともに継続案件、新規案件の獲得が好調に推移
- 本年4月に子会社化した(株)クレヴァシステムズの業績加算による増加

連結損益計算書概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第1四半期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期
売上高	3,810	4,566
売上原価	3,131	3,868
売上総利益	679	697
販管費	774	1,052
営業利益	△95	△354
経常利益	△177	△438
純利益	△224	△299

当初計画どおりの水準を確保

システム開発事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第1四半期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期
売上高	2,000	2,458

売上高

- 各分野において継続案件、新規案件ともに堅調に推移いたしました。

損益面

- 引き続き開発の効率化、オフショア開発を進め、収益性とプロジェクト品質の確保に努めております。

総合サービス事業 (単位：百万円)

決算期 項目	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第1四半期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期
売上高	1,809	2,107

売上高

- ERP事業は、新規顧客向けプロジェクトの引き合いが好調に推移
- keyCOMPASS事業のうち、経営とITの統合コンサルティング、システム・インテグレーション事業およびITコンサルティング事業も堅調に推移

損益面

- ERP事業やインフラ構築事業においては既存顧客からの原価低減要求が一層厳しくなっているものの、高マージンの期待できる上流部分や請負開発が担える要員の育成と事業シフトを通じ、目標の利益水準を確保

ERP: Enterprise Resource Planningの略。統合業務パッケージと呼ばれ、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする情報システムパッケージ。

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第43期 2008年(平成20年)3月期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期
資産合計	11,615	12,557
流動資産	8,189	7,936
固定資産	3,425	4,620
負債	3,439	4,779
流動負債	3,221	4,445
固定負債	218	333
純資産	8,175	7,777
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	5,980	5,526
その他	△49	△41
負債・純資産合計	11,615	12,557



連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第1四半期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	384	872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378	40
計	△308	523
現金及び現金同等物期末残高	917	1,533

社会インフラ事業部の設置 (公共事業部と通信事業部を統合)

本格的な需要期を迎えるNGN商談に向け、 他社に先駆けた需要獲得をスタート

NGN (Next Generation Network) とは、次世代ネットワークの略称。
従来の電話回線とは異なり、インターネットで利用されているIP (Internet Protocol) と呼ばれる通信規約を使って電話回線を構築した、新しい統合ネットワークです。

株式会社クレヴァシステムズを子会社化

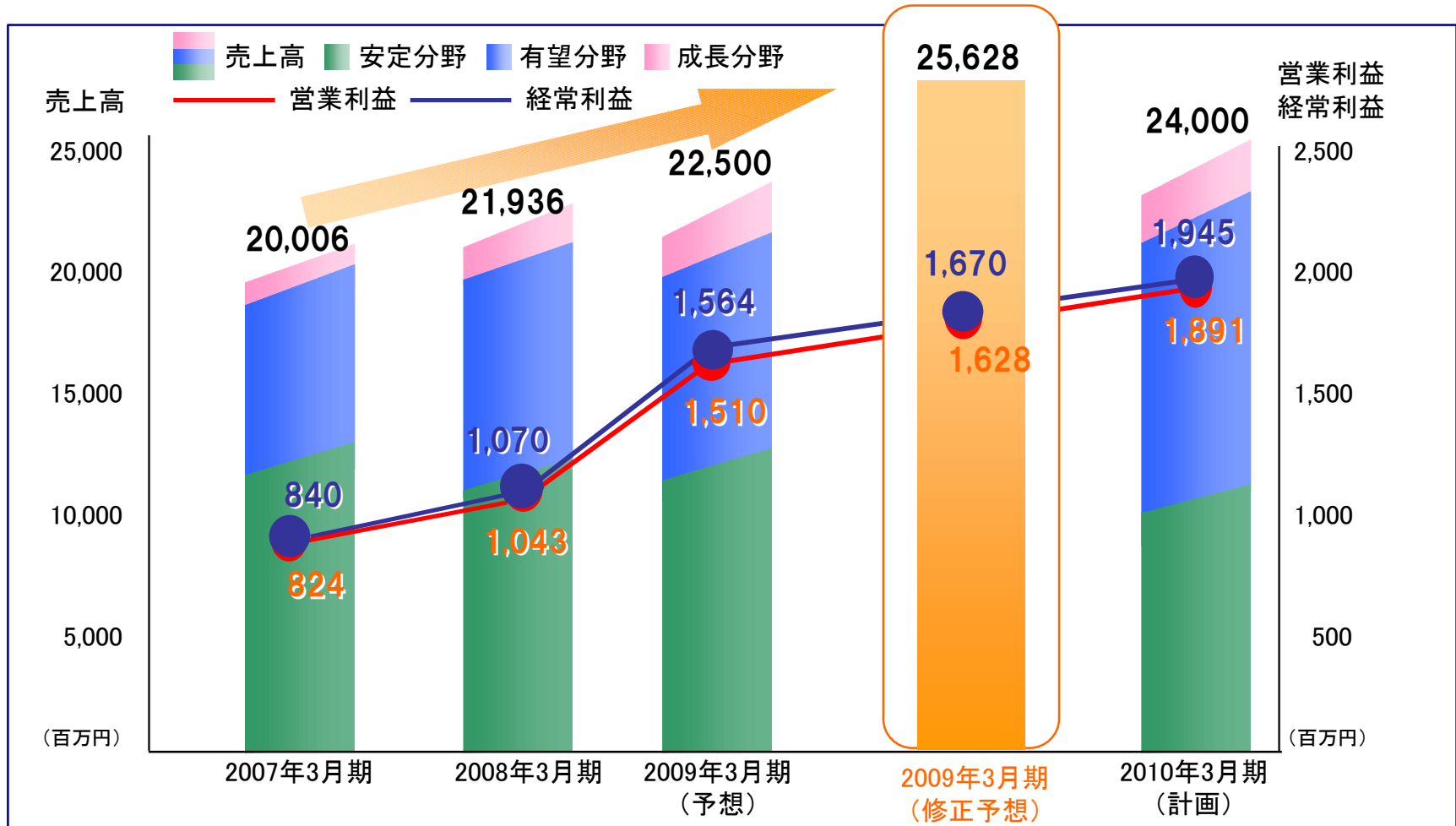
ERP事業、Web系システム構築事業、ITインフラ構築事業に強みを持つ同社との協業により、今後、更なる当社グループの企業価値の向上をはかります。

会社概要

商号	株式会社クレヴァシステムズ		
代表者	櫻井 滋記	所在地	東京都港区
設立	1991年10月	資本金	284百万円
事業内容	ソフトウェアの受託開発		



(株)クレヴァシステムズの業績加算による売上増加により、 2010年3月期の売上目標を前倒して達成できる見込み



当社のビジネスモデル **key COMPASS** を通じ、
経営とITの統合ソリューション、情報セキュリティ・ソリューション、
ユビキタス・ソリューションにより付加価値の高いサービスを提供

施 策

● システム開発事業

- ・官公庁、通信、放送、運輸といった当社が得意とする業種分野に加え、金融分野へ注力

● 総合サービス事業

- ・自社パッケージを有する医療、知的財産分野へ注力
- ・当社の強みであるERP、グループウェア関連ノウハウをコンサルティングに組み込んで顧客へ提供

(キーウェアグループ)

● (株)クレヴァシステムズ

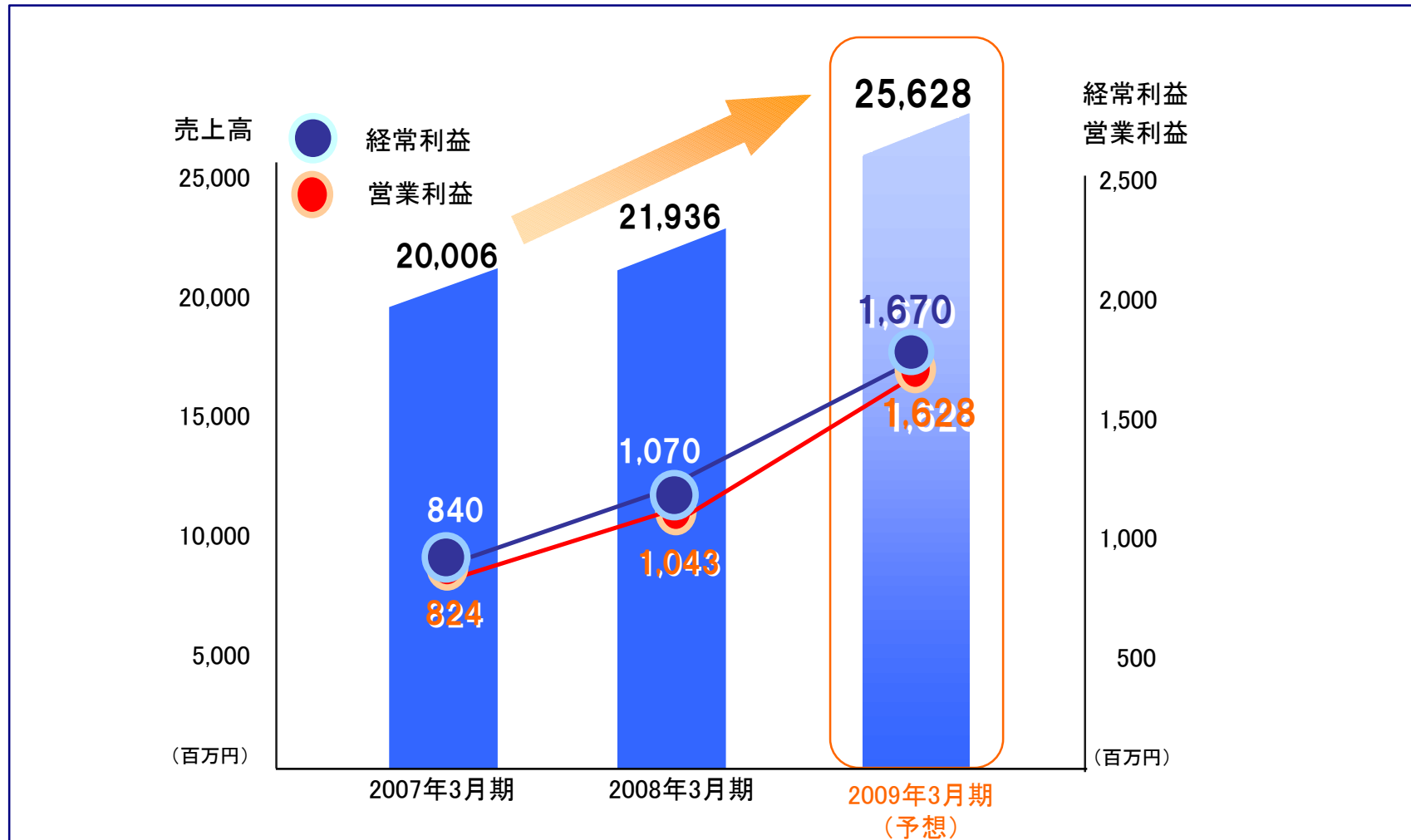
- ・ERP事業、Web系システム構築事業、ITインフラ構築事業に強みを持つ同社との協業により、企業価値向上をはかる。

2009年3月期 通期業績予想

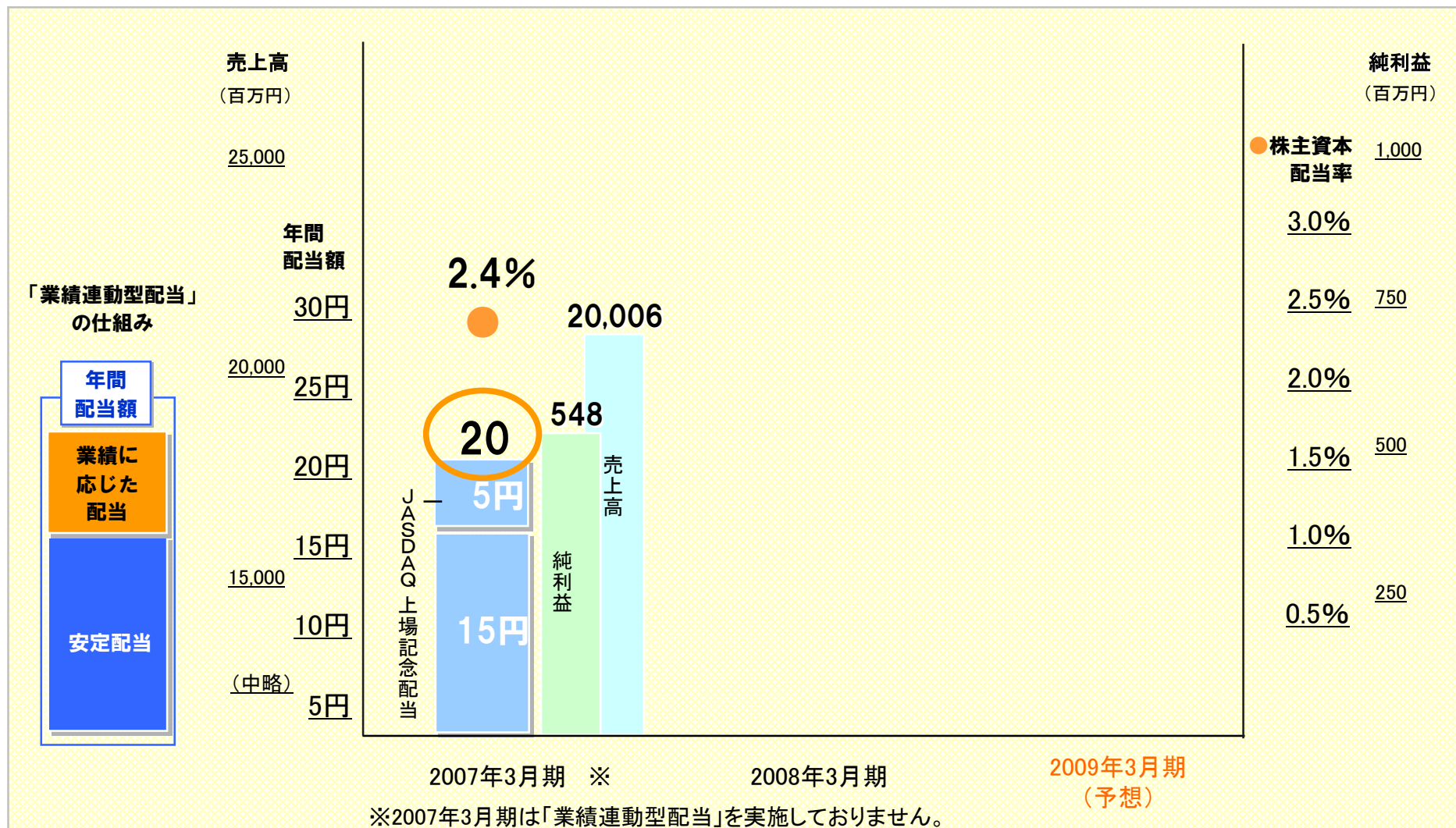
(単位：百万円)

	第43期 平成20年(2008年)3月期			第44期 平成21年(2009年)3月期		
	実績		前期比	予想		前期比
	金額	百分比		金額	百分比	
売上高	21,936	100.0%	9.6%	25,628	100.0%	16.8%
売上総利益	4,152	18.9%	12.1%	5,723	22.3%	37.8%
営業利益	1,043	4.8%	26.6%	1,628	6.4%	56.0%
経常利益	1,070	4.9%	27.3%	1,670	6.5%	56.1%
当期純利益	603	2.8%	10.0%	1,014	4.0%	70.9%
1株当たり純利益金額 (円)	66.29	—	—	111.31	—	—

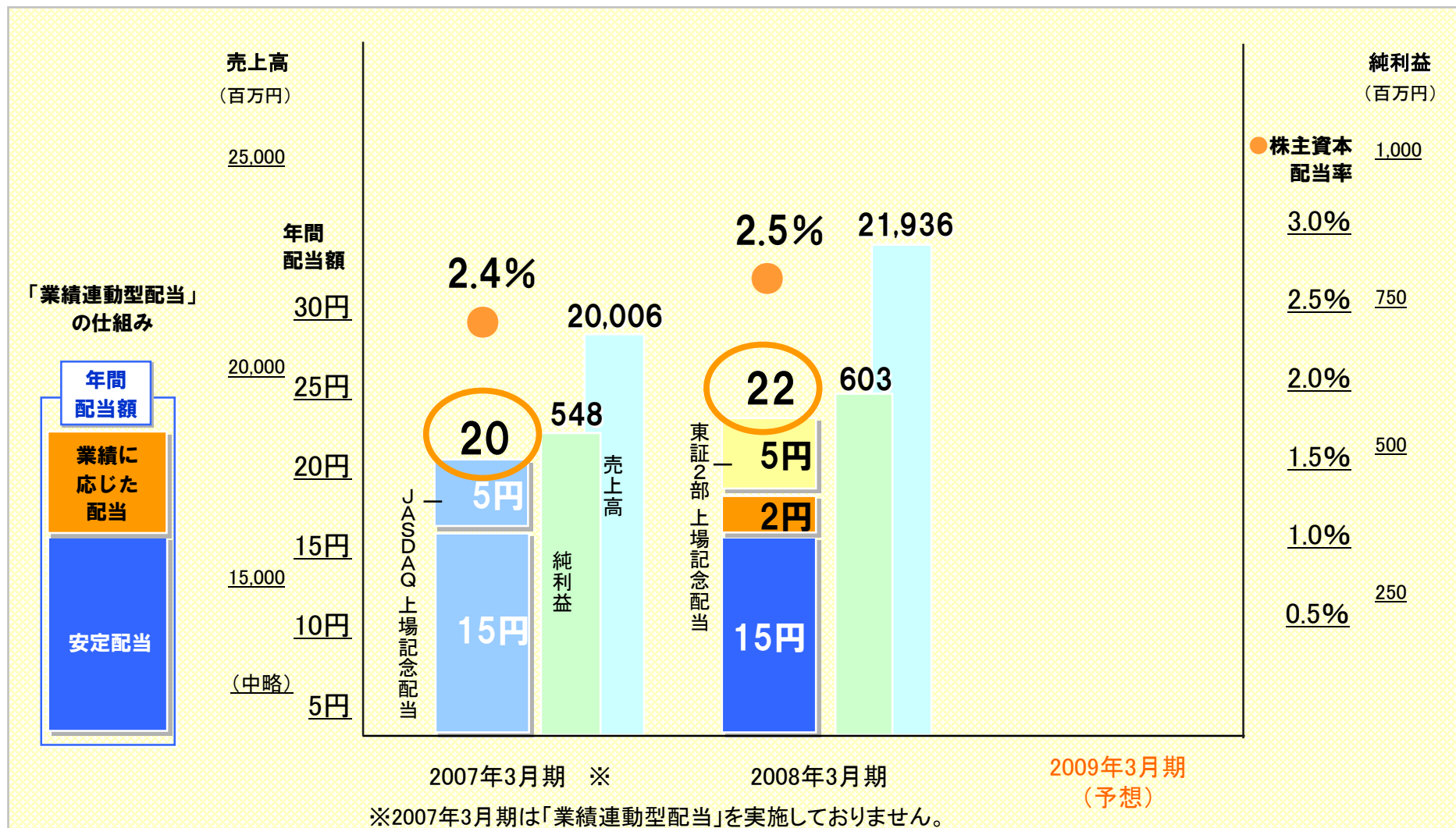
前期比 売上高 17%増、営業利益 56%増の見込み



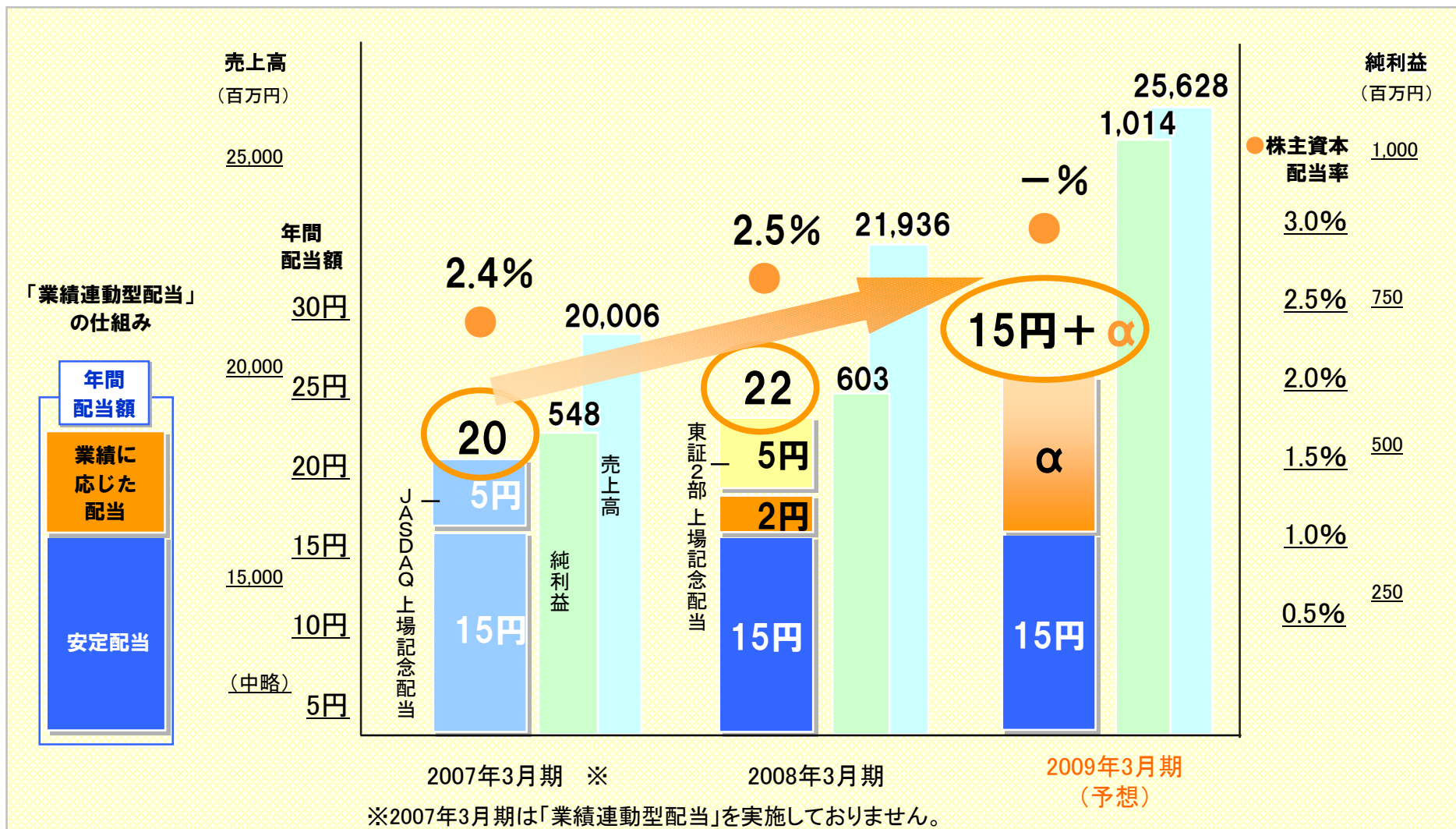
積極的な利益還元をはかるべく、「業績連動型配当」を実施



積極的な利益還元をはかるべく、「業績連動型配当」を実施



積極的な利益還元をはかるべく、「業績連動型配当」を実施





KEYWARE *SOLUTIONS*

お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799